

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	エントランス伊丹教室		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 5日	～	2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 60	(回答者数)	49
○従業者評価実施期間	2025年 11月 5日	～	2025年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 9	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 12日		
○分析結果			
	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	HUGを活用することで、保護者への情報提供の時差をなくし、配布物の渡し忘れ防止や事務手続きの簡素化を実現し、保護者が必要な情報をいつでも確認できる環境を整えている。	活動の様子・連絡事項、支援計画等をHUG上で一元管理し、保護者が必要な情報にすぐアクセスできるようにしています。 紙媒体を減らすことで負担を軽減し、質問や相談にも迅速に対応できる体制を整えています。	引き続き紙媒体のデジタル化を進め、保護者がより詳細な情報にアクセスしやすい仕組みを整えます。また、双方向のコミュニケーションを強化し、より安心して利用できるICT環境の充実を図って行きます。
2	LINE WORKSを活用することで、職員間のリアルタイムな情報共有が可能となり、支援内容の統一や連携の質が向上しています。勤務時間が異なる職員間でも情報が行き届きやすく、支援の一貫性が向上しています。	LINE WORKSを使って日々の情報をすぐに共有し合い、支援の流れや子どもの様子を職員全員で把握できるよう工夫している。非常勤スタッフにも情報が届きやすいよう、申し送りノートと併用しながら連携を深めています。	LINE WORKSの使い方をさらに整え、誰でも必要な情報を見つけやすくすることで、職員同士の連携がよりスムーズになるよう取り組んでいきます。また、非常勤スタッフにも情報が届きやすい仕組みを整え、支援の一貫性を高めていきます。
3	独自の評価ツールを使うことで、子どもの様子をより丁寧に捉えられ、職員同士が同じ理解を共有しながら支援に取り組めるようにしている。	保育士・教員免許・心理・福祉など多様な資格を持つ職員が評価ツールを活用してアセスメントを行っている。専門性の異なる視点を取り入れることで、多角的に子どもの様子を捉え、支援内容の精度向上につなげている。	評価ツールの使い方をより分かりやすく整え、職員同士で共有しながら活用の幅を広げていく。今後は非常勤スタッフにも使いやすい形にして、いろいろな視点を取り入れた支援につなげていく。
	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	清掃体制に関する保護者からの改善要望があった	日々の清掃は実施しているものの、床の汚れに関する指摘があり、清掃状況の引継ぎや確認体制の徹底が今後の課題となっている。	清掃の実施状況を職員間で確実に共有できるよう、清掃箇所や基準の明確化、引継ぎ方法の統一。また、清掃後の確認体制を整えることで、床の汚れなど見落としが生じないように改善を図る。
2	地域交流や関係機関との連携が十分に広がっておらず、今後の強化が求められる状況にある。	情報発信や交流の機会が現状では限られており、地域や関係機関とのつながりを広げるための時間確保が課題となっている。	時間的な制約を考慮しつつ、SNSや掲示物など多様な媒体を活用した情報発信を進め、短時間でも実施できる交流の場を計画的に設けていく等の改善が必要。
3	家族支援プログラムの継続性に課題がある	家族支援プログラムを継続して実施するための担当者や時間の確保が難しく、単発的な実施にとどまりやすい状況がある。継続的に取り組める体制づくりが今後の課題となっている。	企画・準備・実施に必要な時間と担当者を安定して確保する体制が必要である。今後は、業務分担の見直しや手順の標準化を進め、担当者が変わっても継続できる仕組みを整えることが必要。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	エントランス伊丹教室	公表日	2026年1月24日	利用児童数	63名	回収数	49	
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	43	3		3	活動の様子を見たことがなく 本人の曜日に何人の児童がいるのかわからない。	曜日ごとの人数は変動しますが、最大で10名までのご利用となっています。活動の様子をご覧いただけるよう、見学の機会を設けてまいります
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	38	1		10	こどもの人数、職員の人数を知らないで、わからないに○をしました。 本人の活動曜日 時間帯に何人職員がいるのかわからない また適切人数を知らない。	曜日ごとの人数は変動しますが、最大で10名までのご利用となっています。活動の様子をご覧いただけるよう、見学の機会を設けてまいります
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	37	3		9	全ての部屋を細かく見たわけではないので、わからないに○をしました	活動の様子をご覧いただけるよう、見学の機会を設けてまいります
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	42	2		5	通所後、いつも靴下が黒くなっているため床の掃除をしていただきたいです。	清掃は毎日メンバーと職員で行っておりますが、ご指摘を受けて清掃と引継ぎの徹底を図るとともに、床の状態を改めて点検いたしました。今後も快適に過ごしていただける環境づくりに努めてまいります。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	44	5				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	45	3			未回答1	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	46	2		1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	42	5		2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	46	2		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	41	4	1	3		
保護者 への 説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	8	6	23	未回答1	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	42	4	1	2	夏頃に 全体に説明会みたいなものがありました が 都合が悪く参加できなかった	夏の説明会に参加できなかったのご意見を受け、複数回の開催や、資料配布や個別での説明など、参加が難しい方にも情報が行き届くよう改善してまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	47	1		1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	33	5	1	10	母が参加はあるが、父が積極的に参加できるような 曜日・時間帯設定があれば母は助かる	今後はご家族が参加しやすいよう、曜日や時間帯の設定を見直し、より参加しやすい説明会の開催に努めてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	44	4		1	毎回、当日の支援内容や子供の様子を詳しく知らせていただき、とても助かっています。親身になって学習指導をしていただいて、感謝しています。	温かいご意見をいただきありがとうございます。今後も、日々の支援内容やお子さまの様子を丁寧にお伝えし、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	43	6				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	44	4		1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	11	6	21		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	40	3		6		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	44	4		1		
非常時 等の 対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	38	6		5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	45			4		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	37	4		8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	38	3		8		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	44	1		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	2	1	12	事故などにあっていないので、意見が言えない 怪我等がないのでわかりません	事故や怪我なくご利用いただいているとお声を受け、今後も安全管理の徹底に努め、安心して過ごしていただける環境づくりに努めてまいります。
満足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	47	1	1			
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	38	7	1	3		
	29	事業所の支援に満足していますか。	41	8				

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	エントランス伊丹教室			公表日	2026年 1月 24日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		机を整理したので、各自座席の確保ができています	死角になる部分が減るとさらによい
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	2		指示がないと動けない マンパワーが足りていないことがあった
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		通所時の動線を工夫し、スムーズにわかりやすい動きに変えた	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		状況に応じ使用している	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	月一回、職員全員の会議を実施している	パートさんも含めて考えると、できているかは不明 今後も引き続きMTGの実施が必要
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		改善できるところは行っているが、全てにおいての対応はできていない 保護者会の定期開催
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	月一回、職員全員の会議を実施している。その際具体的な案も併せて提示するようにしている	全員の参加が難しい 把握をしてどう改善するか
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		利用者用は作成し、活用している（体験利用時や初回利用時）	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			行っているが、その時々で方針に迷いがある
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	1		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を努めているか。	7	1	相談支援事業所との情報共有は行っている	横のつながりはもう少し構築できるよ良いと感じた
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			未回答2
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		法人内外で研修やスーパーバイズを受けられる環境にある	研修を受けたいという発信がないので、指示する研修以外の研修実施が今後の課題
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		情報発信が必要 未回答3
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2		
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	法人内外で研修可能な職員がいるので、適宜相談している	継続ができていない チャレンジを継続したほうが良いと感じる
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1		継続ができていない チャレンジを継続したほうが良いと感じる
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	3		迅速でない場合があった
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		情報発信が必要 未回答1
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			訓練は実施しているが、もっと回数を増やす方がよりよいと感じる
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		多分できていると思う
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1		
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	フェイスシートへの記載、保護者との都度の情報共有にて確認・対応	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				